

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2013-117045(P2013-117045A)

【公開日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2011-265272(P2011-265272)

【国際特許分類】

C 22 C 37/04 (2006.01)

B 22 D 27/20 (2006.01)

【F I】

C 22 C 37/04 F

B 22 D 27/20 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月22日(2014.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

質量比で、C:3.0~4.5%、Si:3.0~4.5%、Mn:0.2~0.4%、S:0.006~0.020%、Cu:0.08~0.30%、Sn:0.020~0.040%、Mg:0.015~0.050%、Zn:0.01%以下、含有し、残部がFeおよび不可避不純物からなる球状黒鉛鋳鉄により形成され、引張強度が450MPa以上、伸びが15%以上、黒鉛球状化率が85%以上、ヤング率が170GPa以上、対数減衰率が 1.0×10^{-3} 以上であって、製品肉厚が6mm以下の薄肉部にチル相が存在しないことを特徴とする、薄肉球状黒鉛鋳鉄部材。

【請求項2】

取鍋にて、溶湯に対して、質量比で、Ca:1.0~2.0%含有するFe-Si-Mg-Ca系合金からなる球状化剤を、溶湯に対する投入量を、質量比で0.8~2.0%として、球状化処理を行うとともに、Fe-Si系接種剤を用いて接種処理を行い、その後、質量比で、Si:45~75%、Ca:1.0~3.0%含有するFe-Si系接種剤を、溶湯に対する投入量が0.20~0.40%として注湯流接種処理を行う工程を経て得られた球状黒鉛鋳鉄により形成されることを特徴とする、請求項1に記載の薄肉球状黒鉛鋳鉄部材。

【請求項3】

請求項1または2に記載の薄肉球状黒鉛鋳鉄部材を使用したことを特徴とする車両用部品。